

悠久のロマン、
古代吉備の謎に迫る観光学

— 神崎宣武プロデューサー —

総社観光大学

〈古代吉備のロマン学〉

開催日程

令和6年

8月21日(水) ▶ 24日(土)

開催場所

岡山県立大学 [総社市窪木111]
井山宝福寺 鬼ノ城 ほか

参加費

一般 10,000円(税込)
学生 5,000円(税込)
〔内訳〕体験講座材料代、テキスト代、昼食代ほか

申込問合せ

総社観光プロジェクト実行委員会事務局
(総社市役所 観光プロジェクト課内)
TEL 0866-92-8277

受講生
募集中



かんざき のりたけ
神崎 宣武

観光大学プロデューサー

岡山県生まれ。民俗学者。旅の文化研究所所長、文化審議会委員、総社観光プロジェクト委員などを歴任し、現在、東京農業大学客員教授、公益財団法人伊勢文化会議所五十鈴塾塾長、岡山県文化振興審議会委員など。2010年、「あつ晴れ! おかやま国民文化祭」総合フェスティバルでは総合プロデューサーをつとめた。主著に、『吉備高原の神と人』、『江戸の旅文化』、『しきたりの日本文化』、『大和屋物語—大阪ミナミの花街民俗史』、『旅する神々』、『日本人の原風景—風土と信心とたつきの道』などがある。

主催 総社観光プロジェクト実行委員会

総社観光大学

～古代吉備のロマン学～

スケジュール

1日目 8月21日(水) 10:00～17:00

- 入学式・記念撮影
- 講義Ⅰ「総社観光学事始」
- ホームルーム
- 講義Ⅱ「古代吉備の成立と繁栄」
- 講義Ⅲ「稲作文化と赤米」
- 体験講座Ⅰ「鬼ノ城見学」

2日目 8月22日(木) 9:00～17:00

- 体験講座Ⅱ「古代の食を探る」
- 講義Ⅳ「雪舟さん」
- 体験講座Ⅲ「【見学】禅堂改修
【講話】禅堂の思い出
【体験】宝福寺の座禅」

3日目 8月23日(金) 10:00～16:40 ※交流会含まず

- 体験講座Ⅳ「味噌と発酵」
- 講義Ⅴ「吉備津の能」
- 体験講座Ⅴ「備中神楽『吉備津』」
- 交流会

4日目 8月24日(土) 9:00～12:30

- 講義Ⅵ「伝統薬の系譜」
- 総括「総社観光大学からの提言」
- 修了式

※スケジュールは変更する場合があります。

主な講師の紹介

講師



講義Ⅲ「稲作文化と赤米」

さとう よういち ろう
佐藤 洋一郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム館長)
京都府立大学和食文化研究センター客員教授

京都大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。静岡大学助教授、総合地球環境学研究所教授・副所長、人間文化研究機構理事、京都府立大学文学部 特別専任教授等を経て現在に至る。

講師



講義Ⅳ「雪舟さん」

もり やす おさむ
守安 収 (岡山県立美術館 館長)

岡山県生まれ。岡山大学法文学部美学・美術史専攻卒業、同大学院文学研究科修了、同文化科学大学院博士課程単位取得満期退学。岡山県立美術館学芸課長・同副館長、吉備国際大学教授を経て2015年から現職。専門は日本中・近世絵画史。

講師



講義Ⅴ「吉備津の能」

かな せき たけし
金関 猛 (放送大学岡山学習センター客員教授)

京都大学大学院文学研究科修士課程修了。博士(文学)。岡山大学名誉教授。専門はフロイト研究。またフロイト精神分析の観点から、演劇、文学、映画等について論じる。

講師



講義Ⅵ「伝統薬の系譜」

かとう ひろあき
加藤 宏明 (伊勢くすり本舗株式会社 代表取締役 薬剤師)

三重県四日市市生まれ。昭和大学薬学部卒業。米国カンザス大学・中国鄭州大学に留学、帰国後(株)トーマン(現豊田通商)にて商社勤務。家業の加藤翠松堂製薬(株)を化粧品会社に譲渡し、2004年に伊勢くすり本舗(株)を設立。現在、伊勢にて伝統薬・薬用植物の事業を展開。昭和大学医学部特別研究員在籍。

受講申込

①募集対象・定員

18歳以上で全日程参加できる人
25名(定員になり次第締め切り) 最少実施人数20人

②申込方法

住所、郵便番号、氏名、電話番号をFAX・メールで申し込む。
または申込フォームから申し込む。

③申込期限

令和6年7月31日(水) 到着分まで
※定員に達した場合は締め切らせていただきます。



申込先・問い合わせ

〒719-1163 岡山県総社市地頭片山17-1
総社市役所観光プロジェクト課内
総社観光プロジェクト実行委員会事務局

■TEL 0866-92-8277

■FAX 0866-93-9457

■Eメール kankou@city.soja.okayama.jp

ホームページ 総社観光大学

検索

※最少実施人数に満たないときは、開講を取りやめることがあります。その場合は、早急にご連絡します。
※会場までの交通費や宿泊費用などは参加費に含まれていません。切符や宿泊の手配、費用は参加される人でご負担ください。
※1～3日目の昼食については事務局で用意いたします。

主催 総社観光プロジェクト実行委員会